

万博開幕1年前イベント キックオフミーティング

「大阪・関西万博」に向けた兵庫県の取組

兵庫県知事 齋藤 元彦



令和6年4月13日



○ 万博の意義の変化

19～20世紀の万博

- 1851年のロンドン万博以降、**産業発展や技術革新の成果を披露する場**
1970年大阪万博もその中に位置づけられる

21世紀の万博とは…

- **人類共通の課題解決(アイデア)を提言する場**、議論を生み出す発信の場、将来に向けた行動を促す場、異なる知と知が融合することで新たなアイデアが生まれる場としての意義
- 我々の日常生活を取り巻く課題に光をあて、その解決に向けた**ローカルの小さな団体・企業や住民の日々の取組**の中に存在する「**世界に対する普遍的な価値**」を発見し、発信し、議論や行動を喚起することが重要

○ 開催の変化

- 近年のオリンピック・パラリンピックや万博など大規模イベントでは、会場の建設費や大会後の施設の活用が課題となっており、**施設整備のあり方**が問われつつある。
- 兵庫県では、大阪・関西万博に向けて、**建築物を建設することなく**、既存の施設や地域の活動フィールドをつなぐ新たな取組である「**ひょうごフィールドパビリオン**」を展開しており、今後のイベントのあり方のモデルを模索



■ 兵庫では、歴史も風土も異なる個性豊かな五国において、地域の人々が主体的に課題解決に取り組み、未来を切り拓いてきた

- ・ 震災からの **創造的復興**
- ・ 人と環境にやさしい **循環型農業**
- ・ 豊饒な大地や海に育まれた **食材**
- ・ 挑戦を繰り返してきた **地場産業**
- ・ 郷土の自然と暮らしの中で受け継がれてきた **芸術文化**



■ こうした取り組みには、世界が持続可能な発展を遂げていくための**多くのヒント**が秘められている

大阪・関西万博は、兵庫の取り組みを
国内外に伝えるチャンス

- 地域の「活動の現場そのもの(フィールド)」を地域の人々が主体となって発信し、多くの人を誘い、見て、学び、体験していただく「ひょうごフィールドパビリオン」を全県で展開
- 「躍動する兵庫」を切り拓いていく**地域のヒーロー**に光を当てる

211

プログラム
を認定

第5次認定:26件(R6. 3. 26)

第1次認定:112件(R5.2.28)

第2次認定:17件(R5.5.26)

第3次認定:26件(R5.8.22)

第4次認定:30件(R5.12.19)

9

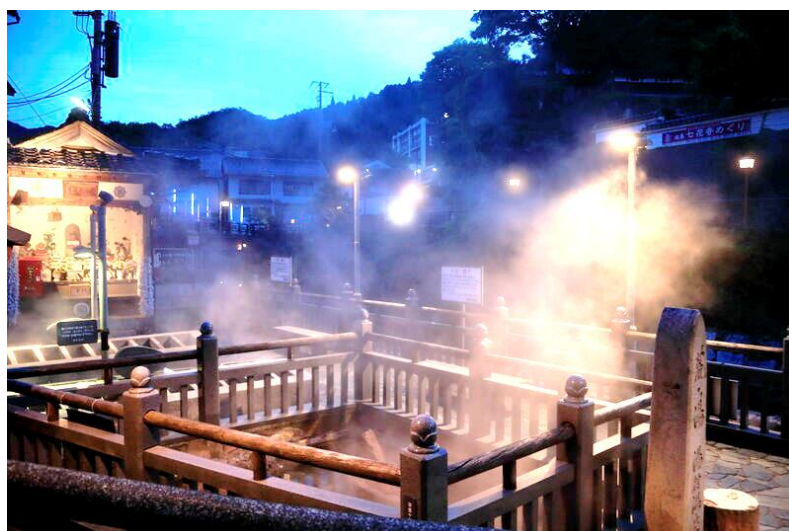
件を

プレミア・プログラム
に選定

R5.3.28 5件
R5.11.30 4件

地域の人々が、
自らの取組を
再評価

地域の誇りへ
つなげる



ひょうごフィールドパビリオンのねらい

経済

- ▶ 地場産業の継承・発展
- ▶ 交流人口の増加
- ▶ 企業・産業の誘致
- ▶ 企業ブランドの向上
- ▶ 若者の県内就職の増加

社会

- ▶ シビックプライドの醸成
- ▶ 定住人口の増加
- ▶ 住環境の改善、
地域の魅力向上
- ▶ 地域文化の保護・育成

＜三側面をつなぐ統合的取組＞



環境

- ▶ 持続可能なライフスタイルの構築
- ▶ 環境負荷の低減
- ▶ 環境に取り組む人材・団体の増加

- ・定住・交流人口の増加
- ・持続可能な地域の実現
- ・地域内経済循環の構築

■万博会場へのフィールドパビリオンプレイヤーの出展

万博会場期間中、フィールドパビリオンプレイヤーが、**万博会場で自らの取組みを発信**するひょうごフィールドパビリオンフェスティバル(仮称)を開催

- ・日 程 R7年**5月25日(日)～31日(土)頃**
- ・場 所 万博会場催事場「ギャラリーWEST等」(予定)

※本日から、各プレイヤーが、「フェスティバル(仮称)」での発信内容を検討するワークショップ形式のキックオフミーティングを県内各地で9回開催予定

■ひょうごの宝探しプロジェクト 4/15募集開始

フィールドパビリオンプレイヤーや地域の宝について、子ども達が制作する3分動画等の作品を募集

- ・テーマ **フィールドパビリオンプレイヤーの宝を取材し、3分以内の動画を制作** 等
- ・対 象 中高生・大学生 等

※応募作品は、万博期間中、関西パビリオン「**兵庫県ゾーン**」のモニター等で放映
優秀賞等の受賞者(3分動画)は、**万博会場等でのプレゼンテーション(発表会)**を予定



地域の宝(フィールドパビリオンプレイヤー)

■フィールドパビリオン県民モニター 4/10募集開始

フィールドパビリオンを実際に体験してもらい、各プログラムの**魅力向上に向けた意見をいただく**とともに、**認知度向上**を目指す

フィールドパビリオンを**体験するための費用を助成**

※参加者アンケート結果を、フィールドパビリオンプレイヤーにフィードバック

【事業概要】

- ①対象団体 県内の地域団体・グループ(10名以上)
- ②対象経費 フィールドパビリオン体験料、体験にかかる交通費
- ③補助率 補助対象経費に応じて定額(上限4万円)



■ひょうごEXPO week シンクロイベント 4/10募集開始

県民が参加できる万博を目指し、博覧会協会が実施する「テーマウィーク」に連動し、兵庫独自の2テーマを加えた10テーマに応じた事業を展開する「**ひょうごEXPO week**」の趣旨に沿う「**シンクロイベント**」を募集する。

※建築や食をテーマとしたイベント 等

【事業概要】

- ①募集期間 4月10日(水)～各イベント開催まで
- ②実施主体 県、市町、県内で活動する団体等
- ③開催場所 県内各地、兵庫県立美術館等



HOT TOPIC (民間での動き)

- 映画「あまろっく」 4/12兵庫県先行公開、4/19全国公開
ひょうごフィールドパビリオン プレミア・プログラムの一つ「**尼崎運河クルーズ**」の中核コンテンツ「**尼ロック**」をモチーフとした映画が今年4月に全国公開決定！
＜江口のりこ×中条あやみ×笑福亭鶴瓶＞が家族に!!
試写会後に、知事より**フィールドパビリオン(FP)アワード**を授与。手作りしたSDGsの**オスカー像**を手渡し。
- 稲美町民参加型オリジナルミュージカル「龍をあむ」 3/31開催
約**120年に亘る疏水の歴史**をベースに、稲美地区住民を中心とした地域参加型オリジナルミュージカルが、3月31日に開催。
フィールドパビリオンプログラム「**いなみ野ため池SDGsプロジェクト**」では、地域の**ため池や水路などの疏水**が有する歴史的、文化的価値を学ぶことができる。
- MBSラジオ「福島のはひろの金曜でいいんじゃない？」 3/29放送
福島のはひろ・MBSアナウンサーが、ひょうごフィールドパビリオン「**日本六古窯、丹波焼**」を事前取材。陶芸の制作過程や作品、陶芸を未来に継承していく為の取組みなど、肌で感じる体験を番組で紹介。
後半には知事が出演し、**ひょうごフィールドパビリオンの経緯や取組みなどを紹介**。

